

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 茨城ねんりんの家

グループの名称 茨城ねんりん会

直近採択グループ番号 04-0183-0159

(グループ代表者)

代表者名 森 大輔 代表者印
代表者所属先 株式会社モリハウジング
代表者所在地 茨城県日立市助川町2-1-19
代表者電話番号 0294-22-3157

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社フジコーつくば営業所
事務局担当者名 松崎 克明 印
事務局郵便番号 305-0868
事務局所在地 茨城県つくば市台町3-1-8
事務局電話番号 029-837-1191
事務局FAX 029-836-2619
事務局担当者E-mail matsuzaki.net@gmail.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		41	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	18	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	5	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		16	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		11	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	4	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	会員の申請棟数が多い場合役員会で、実績あり実績なしを分け、実績なしを優先振分ける。その後実績有に対して前年実績と今年度の要望棟数を加味して会長、事務局が割り振る。但し三世代同居を優先させる									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	34	戸	交付申請戸数	32	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	32	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 茨城ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 茨城県・千葉県・埼玉県・栃木県・福島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 茨城ねんりん会	(結成年) 2007年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0183-0159	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域材を活用しやすい木造軸組み工法を採用する。 震災後の経験を受け雨水貯水タンクの設置で断水に備える。同時に6L以下の節水型便器を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域特性とバツプ性能を考慮 → 風配図を作成。 自立循環型住宅にふさわしい風の流れを確保。 ねんりん会のロゴマークを作成し、会の周知を高める。	◎
④①～③の背景	地域工務店によるグループである特性を生かし、地域の気候・風土における高い知識と経験が活かせるため。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ねんりん会のロゴマークを作成し、会の周知を高める。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 90角、105角、120角、105巾、120巾、を主に使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 質・地域貢献の観点を重視し、茨城県・栃木県・福島県を中心とした国内の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料の統一をはかる。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 給排水設備について、貫通スリーブと給排水ヘッダー方式を原則とする「アクアシステム」を標準仕様とする。 ※地域により自治体の基準に合致しない場合、及び施工都合の場合はこの限りでない。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 給排水設備工事について「アクアシステム」を共同購入することでコスト低減を図る。 雨水利用システムの共同購入によりコスト削減を図る。 主要構造材の購入販路を数社に絞り資材調達の共同化と、申請事務の合理化を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 優良な設備商品などは性能の良い低価格の新商品が次々と出てくるため、マーケティングリストを作成して施工会社に随時情報を流し構成員で共有する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内で検討委員会を設置し、優良な納材メーカーや施工グループ構成員と協議して、(特に断熱材、サッシ、設備機器)グループの共有できる価格や商品提案をセミナー等で推奨していく。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は、参加施工会社の進捗状況を把握し施工会社以外の納入業者と情報の一元化を図る。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理部会を中心に点検マニュアルの研修会を実施する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅あんしん「あんしんいえるて」の活用を図り工務店が定期的な検査を実施。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 消費者との情報見える化による信頼性向上のため、認定取得費用、ゼロエネルギー住宅設計費用、および本事業実施に伴う経費関係を見積り積算に明記するルール化を進める。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 消費者保護の観点からグループ内の持続可能なアフターメンテナンス体制を目的に維持管理継承による点検費用の原資として一棟当たり5万円の維持管理基金を積立てている。 工務店の廃業や倒産などによるアフターメンテ費用にも活用する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	現場での状況により出来る限り、給水ヘッダー、排水ヘッダーの取付による給排水工事の簡略化と給排水の流量向上を図る。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 茨城ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 茨城県・千葉県・埼玉県・栃木県・福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 茨城ねんりん会	(結成年) 2007 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0183-0159	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報管理システム「あんしんいえかるて」の活用、履歴管理、指定図書を情報機関に蓄積する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 日本ERIとの毎月定期的な情報交換会を開催	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「あんしんいえかるて」申請登録証の提出を実績報告時に義務化	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人「住活協リフォーム」「住宅あんしんリフォーム瑕疵保険」などの提案勉強会を開催	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店別実施	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店個別にお施主様と実施	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 持続可能なアフターメンテナンス体制を目的に維持管理委員会を開催	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1棟につき5万円の費用を積立てグループ構成員の倒産廃業に備え、修理その他の費用にあてる。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の瑕疵データ勉強会を開催し今後発生しやすい瑕疵工事等情報の一元化を図る	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 茨城ねんりん会独自の標準的な住宅の仕様・マニュアルの作成を目標とする。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年間3回程度、木造住宅工事仕様書、準防火対策等に基づき未経験工務店勉強会開催。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 給排水ヘッダーシステム・雨水貯水タンク・節水型便器・断熱浴槽の設置(市町村条例、施主意向順守)などの共通ルールを制定。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告時に写真の提出又は取り付け状況報告を義務化	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一回参加工務店に対しアンケート調査実施	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 130 今年度の参加目標人数 25	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 10	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年7月に発表される省エネ技術講習会の予定を会員へ連絡し近隣講習会の予約を促す。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ゼロエネ住宅の建築技術勉強会を通じ会員のレベルアップを図る。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 茨城ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 茨城県・千葉県・埼玉県・栃木県・福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 茨城ねんりん会	(結成年) 2007年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0183-0159	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材に関する	地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。
①	共通 ルール(必須)	
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	【木材供給の流れ】 [原木供給事業者] → [製材集成材合板事業者] → [プレカット事業者] [施工事業者] ← [木材を扱わない流通] ← ← ← ← [設計事業者] [海外原木供給事業者] → [製材集成材合板事業者] → [プレカット事業者] 【グループの取組に関して】 主要構造材(土台・柱・梁・桁)全体の50%以上の地域材を使用する。 地域材は生産地・コスト・品質・地域貢献の観点から国内、国外の「合法性・持続可能な証明」に係る合法木材供給事業者認定を受けた材料とする。
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局と原木供給、製材・集成材・合板製造、建材流通、プレカットの各事業者と供給、及び受給体制に関して定期的打合せ開催。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 280 枚
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 200 坪
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 30 枚
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 壁材料メーカーによる和風建築外壁の勉強会を開催
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 実績報告時風配図の提出を義務化し施主に住まい方の提案を実施。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	震災の経験を踏まえ、震災後の電力不足・水不足などのインフラ被災に対応するために、耐震・省エネ・節水等を課題として住宅づくりを推進する。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	茨城ねんりん会として少しでも貢献できるよう勉強会など会員が集まるときに募金活動を開始し、集まった募金は日赤茨城を経由して寄付する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 茨城ねんりんの家	(地域型住宅供給対象地域) 茨城県・千葉県・埼玉県・栃木県・福島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 茨城ねんりん会	(結成年) 2007年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0183-0159	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

茨城ねんりん会が取組む「高度省エネ型」「ゼロエネルギー住宅」は環境社会が今後深刻な問題となりうることから、低炭素社会を見つめ必要不可欠である「高度省エネ型」「ゼロエネルギー住宅」を会員工務店である地域工務店が積極的に取り組みやすい工法、モデル、材料を標準化し、地域ユーザーに信頼される価格で提案できる仕様を当初の目的とする。

初めて取り組みを行う工務店にも少しの仕様変更で取り組めるように、出来るだけハードルを下げ、施工しやすい様に基準をもうける。

茨城ねんりん会は、国策の通り2020年には、50%以上の住宅に対し「ゼロエネルギー住宅」化を目標とし、その基盤づくりとして活動する。

【グループとして建築する住宅の要件】

【高度省エネ型】

○認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅

性能・特徴等

認定低炭素住宅・性能向上認定住宅+αの付加価値を持つ住宅を目指し下記の四項目のいずれか一つを追加する。

1. 一次省エネルギー削減20%

2. 耐震等級2

3. 劣化対策3

4. バリアフリー

○ゼロエネルギー住宅

住宅版BELS認証を取得することで、住宅の省エネ性能の可視化を図る。

性能・特徴等

1. いずれの地域区分においても外皮平均熱貫流率0.59W/m²・K以下とする

2. 評価方法は平成28年度基準に準ずる。

3. 住宅版BELS認証で「ゼロ・エネルギー住宅相当」の評価書を取得しゼロエネルギー住宅の証明とする。

5地域、6地域においては基準となる外皮平均熱貫流率よりも高い断熱性能を有することで、太陽光頼みではなく外皮性能の向上によりゼロエネルギー住宅を実現する。

また、基準よりも高い外皮性能を有することで、ゼロエネルギー住宅の持つ省エネ性だけでなく、住まい手の快適性も実現する。

住宅版BELS認証を取得することで、住宅の省エネ性能の可視化を図る。